

訪問リハビリテーションに関する後方視的研究に対するご協力のお願い

あぶくま訪問看護ステーションでは、利用者さまが住み慣れた地域で、その人らしい生活を送れること、またご家族さまの介護負担を軽減できることを目標にリハビリテーションの提供に取り組んでおります。今後、利用者さま、またご家族さまの生活をさらに効果的に支援するためには、現状をよく分析し、より有効なリハビリの方法を考案していくことが重要になります。そのため、私たちは過去にリハビリを行った利用者さま、ご家族さまの情報を分析し、利用者さまの診療に役立つ知見を明らかにしたいと考えております。具体的には、すでに実施された利用者さまのお身体の状態、生活の状態、心の状態、ご家族さまの介護負担感の検査結果の関係性を分析することで、より有効な支援のあり方を検討したいと考えております。この研究に関して、利用者さま、ご家族さまに新たに検査等を実施することはありませんし、費用のご負担もありません。詳細は以下となります。

1. 研究課題名

地域在住高齢者の心身機能, 生活機能, QOL, 介護負担感の関連性

2. 対象

2009年4月から2019年4月の間にあぶくま訪問看護ステーションの訪問リハビリを利用された利用者様とその家族に対しての定期評価のデータを使用させていただきます。

3. 方法

利用者さまの個人情報を排除して匿名化したうえで、以下の情報を収集して分析を行います。

1) 利用する情報の項目

- ① 対象者の属性(年齢, 性別, 疾患名, 病巣, 既往歴, 麻痺側)
- ② Barthel Index(日常生活活動能力の指標)
- ③ Vitality Index(意欲の指標)
- ④ Numerical Rating Scale(痛みの指標)
- ⑤ Life-Space Assessment(活動範囲の指標)
- ⑥ PGC モラールスケール(QOL の指標)
- ⑦ Zarit 介護負担尺度(家族の介護負担)

2) 情報を利用する者の範囲

北福島医療センターリハビリテーション科 作業療法士 大橋拓朗
あぶくま訪問看護ステーション 理学療法士 富樫結

東北福祉大学 健康科学部 藤田貴昭

3) 情報管理責任者

北福島医療センターリハビリテーション科 作業療法士 大橋拓朗

4. 研究における倫理的配慮について

本研究は、定期評価の結果について分析を行う後方視的研究であり、利用者さまの診療等に影響を及ぼすことはありません。氏名・生年月日などの個人情報はずべて匿名化を行いますので、個人情報が外部に漏れることはありません。研究の成果は、リハビリテーションの発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人が特定される情報を用いません。研究にご協力いただけない場合でも対象者の方が不利益を受けることはありません。

このような診療録情報の利用にご承諾いただけない利用者さま、またご家族さまは、お手数ですが、下記の連絡先までお願いいたします。

あぶくま訪問看護ステーション 理学療法士 富樫結

電話番号 024-583-5100